



名前

日付

月

日

答え合わせのポイント・・・自分に厳しく行おう😊

①答え合わせは色ペンで行うこと ②間違いはその場で訂正すること ③点数の記入は不要

例文中の傍線部を和訳しなさい

▼例文

- 1 96-1 梨の花は花びらの端に趣深いにほひがほのかについている。
- 2 71-1 娘はまだ幼くて、結婚するなどとはわりなきことだ。
- 3 62 はづかしき人の質問に答えることができたのはうれしい。
- 4 76-1 いたづらに人生を送っている間に年をとってしまった。
- 5 83-1 父君は姫君たちを次々とついでに従って結婚させる。
- 6 97-1 船頭童が返歌を詠むというので、をかしと思って詠ませた。
- 7 74-2 「会いたい」と手紙を出すと、やがて彼が訪ねて来た。
- 8 73-2 苦手な和歌を人前で詠まされるのはかたはらいたし。
- 9 91-2 もし物語がなかったら、つれづれを慰めることができない。
- 10 64 なつかしく話せる人がいないので、寂しさを歌に詠む。
- 11 95-2 まめなる物を贈ってもつまらないので、楽しい物語本を贈る。
- 12 59 すぎずきしき心のある人々が集まって桜の花見に行く。
- 13 90-2 私も関白のようにおこなひして、すばらしい人になりたい。
- 14 82-2 うまい歌を詠んだので、その歌人は多くの着物をかづく。
- 15 65-1 気位の高い女であったが、あながちに言い寄ると結婚した。
- 16 58 「別れの涙は不吉だから、ねんじなさいませ」と人々が言う。
- 17 67 髪がゆったりとしてたいへん長く、めやすき人である。
- 18 99-1 昔、ある男が陸奥国にすずろにさまよい行き至った。
- 19 68 人目しげきところなので、夜の明けないうちに女の家を出た。
- 20 77-1 彼はさうなき料理人である。彼の腕前をみなが見たいと思った。
- 21 56 関白はほっそりとなまめかしく、身を整えていらっしゃる。
- 22 80-2 夜の嵐の音は不気味で、おどろおどろしく響く。
- 23 78-2 その夜は女の部屋に泊まり、つとめて出かけなされた。
- 24 85-1 庭先に入ると、香の香りがいうに漂ってきた。
- 25 96-2 この女君のにほひにまさる女性はひとりもいなかった。

▼現代語訳

- 1 **美しい色**
- 2 **無理な**
- 3 **立派な**
- 4 **むだに**
- 5 **順序**
- 6 **興味深い**
- 7 **すぐに**
- 8 **恥ずかしい**
- 9 **所在なさ**
- 10 **親しみを感じて**
- 11 **実用的な**
- 12 **風流好みである**
- 13 **勤行**
- 14 **褒美をいただく**
- 15 **強引に**
- 16 **我慢する**
- 17 **見た目がよい・見た感じがよい**
- 18 **なんとなく**
- 19 **多い**
- 20 **比類ない・またとない**
- 21 **優雅だ・優美だ**
- 22 **恐ろしく**
- 23 **翌朝**
- 24 **優雅に**
- 25 **気品・威光**

26 94-2 顔がほっそりと痩せてしまったが、なかなか美しく見える。

27 79-1 秋が来たと目にははっきり見えないが、風の音でふとおどろく。

28 100-3 昨夜の共寝から、朝昼のわずかの間も恋しくおぼつかなく思う。

29 54 かしこきお言葉をいただき、かたじけなく存じます。

30 98-1 宮中で行われる行事は、おもしろく興ある。

31 88-1 悲しいと言葉にするのをしのびて、女は黙って背を向けた。

32 73-1 みなすっかり寝込んで、いびきをかたはらいたくする者もいる。

33 84-2 手厚い看病の甲斐もなく、殿はついにうせなされた。

34 69-1 ねむごろに誘ってくださるので強く拒むわけにもいかない。

35 80-1 父の不機嫌な声に怯えた幼い息子は、おどろおどろしく泣く。

36 87-1 女は小さな召使童をひとりぐして、家を出ていった。

37 99-2 顔の美しい女だったので、男はすずろに恋しくてしかたがない。

38 66 人はあまりにうるはしくしすぎると、その状態を保つのが難しい。

39 81-2 奥ゆかしい姫君に育つようと、親たちがかしづきなさる。

40 70-2 私はあやしき田舎者になってしまったが、父は大臣だった。

41 92-2 若くして貧しい生活をしている女は、たいへん いとほし。

42 100-1 漢詩のおぼつかなきところどころを解説してくださる。

43 74-1 「ちょっと」と言って中座したが、やがて立ち去った。

44 60 こちらから手紙を出すと、翌朝とく返事が来た。

45 81-1 天皇の妻であれば多くの女房たちがかしづくであろう。

46 84-1 出家を決意した男は、妻子を捨てて突然うせてしまった。

47 95-1 私の結婚について、まめなる人々がさまざまな忠告をしてくれる。

48 63 中国に“鳳凰”ということごとしき名のついた鳥がいる。

49 72-1 倭約令を発布の折、大臣であっても華美な衣装はびんなし。

50 89-1 鶴はこちたき姿であるが、天にも届くような声がすばらしい。

26 むしろ・かえって

27 気がつく

28 待ち遠しい

29 畏れ多い

30 興味深い

31 我慢して

32 見苦しく

33 死ぬ

34 熱心に

35 はなはだしく

36 連れて行く

37 むやみに・やたらと

38 きちんと美しく整え(几帳面に)

39 大切に育てる

40 身分が低い・みすばらしい・田舎臭い

41 気の毒だ

42 はっきりしない・わからない

43 そのまま

44 早く

45 大切に世話する

46 消える・いなくなる

47 誠実な・まじめな

48 仰々しい

49 不都合だ

50 仰々しい